第14回 南砺の地域医療を守り育てる会を終えて

南砺の地域医療を守り育てる会　会長
山城　清二（富山大学附属病院総合診療部）

平成 26 年 2 月 1 日に第 14 回南砺の地域医療を守り育てる会を開催いたしました。南砺市での地域医療再生の取り組みも 5 年目となり、来年度は 6 年目になりますので次の 5 年間の取り組みを考える企画としました。南砺市民病院長の南眞司先生の基調講演後に、各グループの取り組みの紹介をしていただきました。今回初めて、社会福祉協議会からの発表があり、少しずつ住民サイドへ浸透しつつある兆しが見えてきたよう思いました。

守り育てる会　山城会長

南砺市民病院　南院長

発表内容の簡潔なまとめ：

１．南砺市民病院院長　南　眞司先生
- 自宅で穏やかな死を迎えられる街づくり
- 認知症の人と家族が笑顔で暮らせる街づくり
- 人生の最後まで口から食べることができる街づくり
- 独居・老老世帯が安心して住み続けられる街づくり
- 健康寿命を延ばし健やかに暮らせる街づくり

訪問看護ステーション　村井所長

２．南砺市訪問看護ステーション所長
村井　眞須美さん
- ナースプラクティショナー的ナース養成講座の推進

なんと住民マイスターの会
大塚代表、鵜野さん

３．なんと住民マイスターの会　代表　大塚　千代さん
鵜野　賀津子さん
- なんとすこやか　なんと安心パンフレットで宣言した医療と介護と地域とわたしが強い絆でつながっている支えあいの輪をつくる。
- 京都視察研修報告

４．南砺市地域包括支援センター長　武部　範代さん

・認知症高齢者の支援

・集中支援チームの立ち上げ（平成 25 年 9 月より）

地域包括支援センター　武部センター長

包括医療・ケアワーキンググループ　前川課長

５．包括医療・ケアワーキンググループ
地域包括課長　前川　達夫さん

・現在の取り組みの紹介

南砺市社会福祉協議会　筏さん

６．南砺市社会福祉協議会　筏　淳子さん

・地域住民に寄り添う：地域住民の日常生活を支援する：ゴミ出しや見守り、通帳管理、寂しさ対応、車イス受診、生活費

・地域住民の参加を得る：ボランティア活動の推進

・地域とともに考える：地域福祉ネットワークづくりで、民生委員児童委員、高齢福祉推進員、自治会長、老人クラブ等の地域の関係者との連携

今回、社会福祉協議会の活動を聞いて、2 つの点で考えさせられました。一つは、社会福祉協議会は生活支援では地域に最も近い組織であるということが分かったこと。同時にそのことを知らなかった自分の無知さに恥ずかしくなりました。二つめは、其々の役割を知ることにより、その組織の得意で核となる活動はその組織にお願いすることが、効率的でまた連携も取りやすいのかなと感じました。餅は餅屋にお願いする。これも連携の基本かなあとつくづく感じました。

さて、今回と次回の守り育てる会は次の 5 か年計画を考える会にしたいと思います。皆様、一緒に 10 か年計画として「南砺市モデル」の充実に取り組んでいきましょう。

第15回南砺の地域医療を守り育てる会のご案内

◆日時：平成２６年４月２０日（日）午後１時３０分～４時

◆場所：いのくち椿館　南砺市宮後１８８　（井口地域）

◆内容：　第１部　特別講演

◆講師　　国際医療福祉大学大学院教授・高齢者住宅財団理事長

高橋（たかはし）　紘士（ひろし）　先生

第２部　活動発表・意見交換

【講師プロフィール】

１９６８年社会保障研究所研究員。１９８５年法政大学教授。１９９７年立教大学教授。現在、国際医療福祉大学大学院医療福祉連携学分野教授。一般財団法人高齢者住宅財団理事長。厚生労働省、国土交通省、総務省および都道府県、市町村で各種審議会、研究会の委員等を歴任。専攻は地域ケア、医療福祉学、介護保険、福祉情報など

著書『地域連携論　－医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援－』より